

# 【単元のポイント】

## 小数のわり算

5年生 算数 第5単元

### 学習指導要領（平成 29 年告示）の目標

#### 【A 数と計算】A(3) 小数の除法

除数が小数である場合の除法の意味について理解し、その計算の仕方を考えたり、それらを用いたりすること。

### ◆ 評価の 3 観点における目標

#### 【知識・技能】

- 小数 ÷ 小数の筆算ができる
- わり進みやあまりのある計算ができる
- 商を概数で表すことができる

#### 【思考・判断・表現】

- 整数の計算に帰着して考えられる
- 純小数でわると商が被除数より大きくなることを理解できる
- わり算の性質を使って計算の方法を説明できる

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- 小数の計算を日常生活に活かそうとしている
- 計算の確かめを正確に行おうとしている

## ◆ 指導上の留意点（学習指導要領解説より）

### 1. 小数のわり算の仕組み

- $7.2 \div 0.6 \rightarrow 72 \div 6 = 12$ （わる数を整数にする）
- わる数とわられる数に同じ数をかけても商は変わらない
- 小数点の移動で整数に直して計算

### 2. わる数が1より小さい場合

- $6 \div 0.5 = 12$ （商が被除数より大きくなる）
- 「 $\div 0.1$  は 10 をかけることと同じ」という理解
- 1より小さい数でわると増えるという感覚を育てる

### 3. あまりのあるわり算

- あまりの小数点は、もとのわられる数の小数点の位置に合わせる
- 検算：商  $\times$  わる数 + あまり = わられる数

### 4. つまづきやすいポイント

- 小数点の移動を片方だけ行う
- あまりの小数点の位置を間違える
- わり進みの際に 0 を補うのを忘れる

## ◆ プリント作成時の配慮事項

1. 筆算欄：計算スペースを十分に確保
2. 段階的：整数  $\div$  小数  $\rightarrow$  小数  $\div$  小数の順
3. 検算：かけ算で答えを確かめる習慣
4. あまり：あまりのある問題と整数になる問題を混ぜる
5. 1より小さい：純小数でわる問題も扱う